



城南だより



令和8年1月30日(金)
東京都立城南特別支援学校長
濱野 建児



1年間のまとめの時期になりました

副校長 西 健史

新しい年を迎え、今年度も残すところあと二か月となりました。城南特別支援学校の各教室では、学習のまとめの時期を迎えています。城南祭や校外学習、宿泊学習など、これまでのさまざまな活動が、振り返ったときに思わず笑みがこぼれるような思い出となっていれば、大変うれしく思います。日々の授業や生活の中で見られる子どもたちの前向きな姿勢に、私たち職員も励まされております。

1月24日(土)には、放課後子供教室「わくわくじょうなん」主催の「二十歳を祝う会」が本校体育館で開催されました。新しいスポーツに挑戦している様子や、新しい環境にも少しずつ慣れ、緊張がほぐれてきた様子など、卒業して約2年の近況を教えていただき、私たちにとても励みとなる時間でした。当日は、小学部から高等部まで関わりのあった先生方も会場やオンラインで参加し、温かさに満ちた和やかな会となりました。

現在、令和8年度に向けた準備を進めております。1月末には高等部入学相談が行われ、続いて2月には中学部・小学部の一入入学を予定しています。小学部6年生、中学部3年生の御家庭には、御協力をお願いする場面も多くなるかと思えます。新しい環境への円滑な移行のため、引き続き御理解と御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



充実した1年になるためのチャレンジ

副校長 笠井 玉喜

令和8年新しい年が始まっていますが、皆さんはどのようなことをチャレンジしようと計画されているでしょうか。今年もさまざまなことに挑戦し、充実した1年にしてください。

今年度、「協働的な活動」として六郷工科高校と連携した取組でチャレンジしたことについてお知らせいたします。施設の関係では、両校の間にあった絆の門が拡張され、今まで以上に開かれた門になっています。10月の文化祭では、展示見学だけでなく、ゲームに参加し生徒間交流で関わりを深めました。11月には、一緒に制作した城南うさぎのねぶたで六郷地区を練り歩く体験もできました。12月には、軽音楽部が、わくわくじょうなんのクリスマス会に出演していただき最後に「エビカニクス」のダンスで大盛り上がりになりました。また、今年度できた本校の音楽部も発表したことで生徒理解につながる機会となりました。

近くてもなかなか関りを深めることが難しかった高校生と接する機会が、今年度いろいろなことにチャレンジしたことお互いの学校のことや生徒のことを知ることができた1年となりました。両校の生徒から「交流をもっとしたい」という意欲的な意見も出てきました。次年度に向け、この取組をもっと充実させ、多くの子供たちが関われるように取組んでいきたいと思えます。

これからも協働的な活動の情報を発信していきますので、学部関係なく多くの方々に参加していただき、地域と関わる取組みを充実していただければと思います。